

Raspberry Pi OS 活用術

岩松 信洋

1 OSの種類と入手先

ラズベリー・パイのOSは順調にアップデートを重ね、Debian 10 (コードネーム:buster)をベースとしたリリースでは、2020-05-27版が最新となっています。ラズベリー・パイのOSのバージョン遷移は表1の通りです。

またイメージも用途に合わせて3つ用意されています(表2)。

これらはバイナリ・イメージとして頒布されており、インストール済みmicroSDカードを購入するか、持っているmicroSDカードなどに書き込んで利用します。最新のバイナリ・イメージは、

<https://www.raspberrypi.org/downloads/raspberry-pi-os/>

から、ダウンロードできます。また、過去にリリースされたバイナリ・イメージは、

<https://downloads.raspberrypi.org/raspbian/images/>からダウンロードできます。

これまでは公式のmicroSDカードなどへの書き込み方法がなく、別途ソフトウェアを使っていましたが、ついに公式書き込みソフトウェアRaspberry Pi Imagerが登場しました。また、ラズベリー・パイ4の8Gバイト版の登場に合わせて64ビットに対応したRaspberry Pi OSイメージのベータ版提供が開始され、microSD以外からの起動ができるようになっていきます。以下ではRaspberry Pi Imagerを使った書き込み方法、64ビット版Raspberry Pi OSに関する情報、USBマス・ストレージからの起動方法について説明します。

表1 ラズベリー・パイのOSのバージョン遷移

OSの種類	通称	リリース時期	説明
Debian 10ベース	Buster	2018年6月24日	2019-06-20版からラズベリー・パイ4に対応
Debian 9ベース	Stretch	2017年8月16日	2018-04-18版からラズベリー・パイ3B+に対応
Debian 8ベース	Jessie	2015年9月28日	2016-02-26版からラズベリー・パイ3に対応

表2 ダウンロードできるイメージの種類

イメージの名称	詳細
Raspberry Pi OS Buster with desktop and recommended software	ラズベリー・パイ財団の推奨ソフトウェア一式とデスクトップ環境がインストールされたもの
Raspberry Pi OS Buster with desktop	必要最小限のソフトウェアとデスクトップ環境がインストールされたもの
Raspberry Pi OS Buster Lite	デスクトップ環境はインストールされておらず、SSHやシリアル・コンソールを用いてコマンドライン経由で操作するためのもの